

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【公開番号】特開2000-217028(P2000-217028A)

【公開日】平成12年8月4日(2000.8.4)

【出願番号】特願平11-17026

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月25日(2006.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 動画像または静止画像を記録可能な撮像装置であつて、撮像光学系等を含む撮像手段と、前記撮像手段で得られた画像信号を記録する記録手段と、少なくとも1画面分の画像を記憶可能な記憶手段と、前記記憶手段に記憶された画像に対する前記撮像手段によって得られる画像の動きを検出する動き検出手段と、

前記記憶手段に記憶された画像と前記撮像手段によって得られる画像を比較する画像比較手段とを備えた撮像装置において、

前記撮像手段の動きに合わせて動き方向を指示する機構を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】 動画像または静止画像を記録可能な撮像装置における撮像方法であつて、

静止画像を取り込んだ後に前記撮像装置を水平あるいは垂直に回転させ、この撮像装置の動きに伴つて自動的に画像の繋がり点を検出し、つぎの画像を取り込み、その画像を元に順次繋がり点を検出することにより、複数の静止画像を元にしたパノラマ画像を撮影する撮像方法において、

前記撮像装置の動きに合わせて動き方向を指示するようにしたことを特徴とする撮像方法。

【請求項3】 請求項2に記載の撮像方法において、

前記撮像装置の予定の動き方向に対して異なる方向に前記撮像装置を動かした場合は、それを補正する方向に動き方向を指示するようにしたことを特徴とする撮像方法。

【請求項4】 請求項2に記載の撮像方法において、

最初の画像を取り込んだ後につぎの画像を得るために前記撮像装置を動かした最初の動きによって、動きの指示方向が決定されることを特徴とする撮像方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

**【課題を解決するための手段】**

本発明による撮像装置は、動画像または静止画像を記録可能な撮像装置であって、撮像光学系等を含む撮像手段と、前記撮像手段で得られた画像信号を記録する記録手段と、少なくとも1画面分の画像を記憶可能な記憶手段と、前記記憶手段に記憶された画像に対する前記撮像手段によって得られる画像の動きを検出する動き検出手段と、前記記憶手段に記憶された画像と前記撮像手段によって得られる画像を比較する画像比較手段とを備えた撮像装置において、前記撮像手段の動きに合わせて動き方向を指示する機構を備えることを特徴とする。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本発明による撮像方法は、動画像または静止画像を記録可能な撮像装置における撮像方法であって、静止画像を取り込んだ後に前記撮像装置を水平あるいは垂直に回転させ、この撮像装置の動きに伴って自動的に画像の繋がり点を検出し、つぎの画像を取り込み、その画像を元に順次繋がり点を検出することにより、複数の静止画像を元にしたパノラマ画像を撮影する撮像方法において、前記撮像装置の動きに合わせて動き方向を指示するようにしたことを特徴とする。

**【手続補正4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明の撮像方法において、前記撮像装置の予定の動き方向に対して異なる方向に前記撮像装置を動かした場合は、それを補正する方向に動き方向を指示するようにしたことを特徴とする。

**【手続補正5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明の撮像方法において、最初の画像を取り込んだ後につぎの画像を得るために前記撮像装置を動かした最初の動きによって、動きの指示方向が決定されることを特徴とする。